

地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会
第5回 情報共有会合 議事概要

1. 日時：平成26年3月13日（木）15時00分～16時30分

2. 場所：札幌第1合同庁舎10F 共用第3会議室

3. 出席者：18名

北海道開発局(4名)、札幌市(1名)、江別市(1名)、北海道大学(1名)、日本測量協会北海道支部(2名)、北海道GIS・GPS研究会(2名)、Digital北海道研究会(2名)、北海道GIS技術研究会(1名)、建設コンサルタンツ協会北海道支部(1名)、国土地理院北海道地方測量部(3名)

4. 議事

～（地理院地図キット等の活用について）～ 利活用の報告

1) 『地理空間情報の河川分野での活用』

北海道開発局建設部河川管理課河川情報係 竹下 智規 氏

2) 『図上訓練地図資料の作成について』

江別市総務部（危機対策・防災担当） 目黒 茂樹 氏

3) 『アイヌ地名の分布と北海道の鉄道路線の今昔について』

NPO 法人 Digital 北海道研究会 三好 達也 氏

4) 『「地理院地図キット」を使ってみる』

建設コンサルタンツ協会北海道支部 雫石 和利 氏

5. その他

平成26年度 第1回情報共有会合の開催候補日程

1) 5月22日(木) 13:30～17:00 の間

2) 5月23日(金) 13:30～17:00 の間

3) 5月30日(金) 10:00～11:30

開催テーマについて、アイデアを募集します。

事務局より

新年度からイベントカレンダーを国土地理院北海道地方測量部のHP上で運用をします。関係機関からのイベント情報の提供をお願いします。

6. 配布資料

(1)議事次第

(2)イベントカレンダー

(3)第5回情報共有会合出席者名簿

(4)利活用報告資料（目黒様、雫石様）

(5)北海道GIS技術研究会 全国縦断「地理空間情報活用推進セミナー」パンフ

6. 議事概要

- ・開発局竹下氏より、河川管理課における地理空間情報の利活用事例を紹介
地理院地図は災害時に有効であり災害情報の作成などに利用している。

CCTV カメラや雨量計・水位計、施設、機材等の情報を KML ファイル化して危機管理等で利用している。管理する全河川で、堤防上のストリートビューを作成。

構造物の 3 次元情報化に関する取り組み状況などについて報告をいただいた。

- ・江別市目黒氏より、今年 2 月 3 日に実施した図上訓練における地図資料の作成と図上訓練時の状況などを紹介

地図資料作成は地理院マップメーカーの作図機能を利用して浸水予想区域や避難道路等を示した図を作成。20 数枚の資料地図作成に要した期間は二日程度。訓練時に自衛隊から伝達された UTM グリッド地点に集結するために UTM グリッドを読むための L 字定規（1/1 万分の 1、1/2,500 分の 1 対応）の利用方法などについて報告をいただいた。

- ・Digital 北海道研究会の三好氏より、地理院マップメーカーとマップケースを利用してアイヌ地名の分布と北海道の鉄道路線の今昔についての利用事例を紹介

過去のデータを表現するには、マップシートは利用できない。（対応していない）

北海道の鉄道路線について、計画があった路線、すでに廃線となっている路線の情報を含めて地理院地図の作図機能を利用して表示してみた。

地理院地図では、過去の空中写真が利用でき便利である。など地理院地図等を利用した事例の報告をいただいた。

- ・建設コンサルタント協会北海道支部の雫石氏より、地理院地図キットを使ってみると題して札幌市内のラーメン店マップ作成についての利用事例を紹介

ラーメン店の住所録は、i タウンページより情報を収集してマップシートを利用して KML ファイルを作成。次に、そば・うどん点も同様に処理。KML ファイルを地理院マップメーカーで電子国土基本図上に表示。札幌市内には、ラーメン店が無く、そば・うどん店が集中する地区がある。何か理由があるのではと思い、内科系の病院を KML ファイル化して分析してみると、病院の近傍にはラーメン店が少ない。？

GIS を利用して密度分布を比較してみたら、病院の分布とそば店の分布が同様ののであるなどの利用事例を報告いただいた。

- ・事務局から

人事異動等で窓口を担っていただいている方が変更する情報を事務局までお知らせ願います。新年度の情報共有会合を開催するにあたり、開催場所、開催間隔、会合時間、議題等については、開催日時の照会と併せ後日連絡しますのでご意見をお願いします。より多くの方に気軽に参加していただきたいので協力をお願いします。

16:30 閉会